

ビーイングだより

令和5年10月吉日

所在地 湯沢市小野字東水口205番地2
 TEL 0183-56-7310
 FAX 0183-56-7311
 E-mail ononokomachi@yutopia.or.jp
 HP https://being-aoihana.org



理事長挨拶

寺門 敏子

暑く長い夏も終わろうとしております。皆様には、この暑い夏をどのように乗り切られましたでしょうか。

今年の秋田は特別な夏になりました。140年間で1ヶ月の平均気温として最も高く、最高気温や猛暑日数など観測史上1位を更新、歴史的な夏になりました。また8月14日に秋田市周辺が記録的降水量で壊滅的な水害に見舞われ、会員の多くが被災されました。想像以上の被害で、心身ともに大きなダメージを受けられたようで、いまだ復興の目途が立たずに居られるようです。私たちはその現実の前に無力のみを感じています。猛暑に加えて、コロナがまた猛威を振るいだし、子ども達の生活にも影響を来しました。

そんな中でも今年のイベントや研修は細心の注意を払い、全て実行しようと決めましたので。8月26日能代の「旧料亭 金勇」、金足の「東泉寺」への研修を無事終えることができました。大変実りある研修となりました。

9月16日は2回目のユニバーサルスポーツ交流会を開催いたしました。昨年同様、小野地域づくり協議会の皆様の温かいご協力をいただき、美味しいカレーライス子ども達といただきました。

このように色々な困難の中ではありましたが、無事終えることができました。ほっとしています。いつものことですが、どこかで誰かに温かい手を差し伸べられ助けられて物事になる、ビーイングはそんな有り難いものに守られているような気がしてなりません。

今年もあと3ヶ月となりました。早いものです。どうか皆様、今後も変わらずのご協力、ご支援をお願い致します。

(令和5年9月)

ご寄付をいただいた皆様

島 頼子様、阿部幸雄様、藤原亮子様、湯沢ローリークラブ様、由利英治様
柴田志保様、藤原希様、千葉竜也様、麻生重雄様、高橋則幸様、佐藤哲也様
いつもありがとうございます。

今年も雄勝中央病院の花壇がビスコーサでいっぱい



(上) (右) 7月9日花壇を耕し、ビスコーサ苗を植栽。

(下) 9月下旬 今年もたくさんの花を咲かせました。



ユニバーサルスポーツ交流会

9月16日（土）小野地区センター体育館で行いました。参加児童は17名、ビスコーサの子ども達と学童の子ども達が楽しく、フロアカーリング、ポッチャ、フライングディスク、ドミノを楽しみました。



開会式 理事長のお話



フライングディスク 初めての1年生



ポッチャ 高校生ボランティアの栄喜さん



フロアカーリング 意外と難しい



ドミノ倒し 止まりませんように



閉会式後はみんなでカレーライス

今年の交流会も小野地域づくり協議会の皆様、スポーツ指導員の皆様、高校生ボランティアの栄喜さん、地域の方々のご協力のもと、事故なく楽しく終えることができました。

ありがとうございました。

8月26日 研修旅行

能代市 旧料亭 『金勇』

昼食をとり、国登録有形文化財である館内施設を見学しました。



秋田市 金足 『東泉寺』

2年前に公開講演会の講師を住職の柴田和明様をお願いした縁で、今年は東泉寺を訪問させていただきました。奥様から『涅槃図』のお話を聞かさせていただきました。質問もたくさん出て有意義な時間を過ごすことができました。



研修旅行に参加した麻生重雄氏からたくさんのご寄付を頂戴しました。
ありがとうございました。

ビスコーサの子どもたち 〈夏〉



夏休みに入ると午後からプールで楽しめます。今年の夏はとても暑かったですが元気に遊びました。

東泉寺 参道の掲示板に掲載の『幸福への道 不幸への道』

<p>早寝早起きにつとめる人 時間を守る人 礼儀正しい人 感謝を真剣に努力する人 仕事に興味に能率を計る人 義務も責任も進んで果敢人 頼もしい人 融和を計る人 人も自分をも尊敬できる人 常に反省し素直に改める人 何事も善意に解釈する人 注意深い人 決断の速い人 心身の健康を心掛ける人 質素でお金を活かして使う人 親孝行の人 恩に報いる人 親切で人の為によく尽くす人 良心と優しい愛情に満たす人 恥を知る人 偽りのない人 信念の強い人 辛抱強い人 どんな苦勞にも耐える人 生き甲斐を求め精進する人 夢を希望に笑顔で生きる人</p>	<p>幸福への近道</p>	<p>不幸を自分で造る人</p>	<p>幸福への道 不幸への道</p>
<p>時間も物も無駄にする人 心の暗い人 不愉快に暮す人 絶えず不満や愚知を言う人 やる気がなくよくサボる人 無責任な人 規律を守らぬ人 陰口が多く 協調心の無い人 卑下する人 自信なく焦る人 信仰心がなく 自我の強い人 神仏に無理な願いをする人 心が狭く すぐ腹を立てる人 茶飯暴食を 自分を粗末する人 お金を浪費し 賭事をする人 悪友道楽の多すぎる人 道徳心なく 迷惑を掛ける人 利己的で 自分本位の人 迷いも 取越苦勞も多い人 欲の深い人 自惚れの強い人 依頼心の強い人 苦勞に負ける人 権利を主張し 義務を怠る人 貴重な一生を 無為に過ごす人</p>	<p>不幸への道</p>	<p>幸福への道</p>	<p>不幸への道</p>

根本俊夫参与長い間ごくろうさまでした。

令和5年5月、根本参与から辞職願が届けられました。

ビーイング設立以来、20年もの間、事務局長としてまた理事長として頑張っておられた方ですので、もう少し我々の活動を見守って頂きたいとお願いしたのですが、本人の意思は固く、やむを得ず受理いたしました。

根本さんは現在も「湯沢の方言」の研究を続けておられまして、また各学校の校歌の研究はじめ色々の活動をされております、ビーイングの20周年記念誌作成の後、湯沢高校の80周年の記念誌にも取り掛かられております。

このように、貴重なお仕事にも取り組んで居られ、大変お忙しい方ですので、これ以上お引止めするのも、酷なように思い、ビーイングから解放し、今後皆様の為に頑張ってお頂くことを決断いたしました。

本当に長い間、有難うございました。そしてご苦勞様でした。

今後のご活躍を心からお祈りしております。

大 忘 年 会 の お 知 ら せ

日時 12月3日(日) 午後5時から

場所 『福富』(湯沢市)

※参加希望の方は11月29日(水)までにビスコーサ(0183-56-7310)または理事まで連絡ください。

前号に続き 築瀬均先生の研究より 郷土が生んだ横綱照國(1919-1977)

◆史上最年少の横綱誕生度重なるケガや大病に苦しみながらも、照國は死にもの狂いの努力で闘い、番付を上げていった。大関昇進が目前と囁かれていた昭和15(1940)年12月、最愛の母・トメが脳溢血で帰らぬ人となった。母は上京したわが子を想い、凍てつく真冬でも冷水を身体に浴び「萬を助けてけれ」と神様に願掛けを続けた。母の訃報を聞き、急いで秋田に向かった照國は子どものように泣き崩れた。太平洋戦争が勃発するおよそ半年前の昭和16(1941)年5月、22歳の照國は大関に昇進が決まった。同じ年、照國は千賀ノ浦親方(幡瀬川)の養子になり、菅から大野へ姓が変わった。翌年の夏場所には、大横綱双葉山を倒し、優勝と同成績の13勝2敗を収めた。69連勝を達成した天下無敵の双葉山と照國は計5回対戦し、3勝2敗。照國は双葉山に勝ち越した唯一の力士である。

昭和17(1942)年夏場所後、照國は安芸ノ海と共に横綱昇進が決まった。23歳4ヶ月。当時、史上最年少の第38代横綱が誕生した。秋田県出身力士で初めての横綱を、郷土の人々も大いに祝福した。

戦局が悪化するにつれ、相撲を取り巻く環境も変わった。昭和19(1944)年、両国国技館は風船爆弾工場として軍部に接收され、翌年の東京大空襲では奇跡的に建物が焼け残ったが、敗戦後GHQによりメモリアル・ホールと改称された。食糧不足も深刻だった。最盛期には161キロあった照國の体重も、終戦後には栄養不足で約100キロまで落ち、その回復まで5年を費やした。厳しい時代に君臨した横綱は、好成績を収めながらも「あと一番」というところで優勝には届かないまま長い時が過ぎていた。

会費納入のお願い

同封の郵便振り込み用紙にて振り込み方お願いいたします。

口座番号 02200-8-101550

加入者名 NPO法人サポートセンター・ビーイング



今年は7月25日に最初のビスコーサの花が咲きました。